

Arbor Sightline

ネットワークの実態を捉え、問題を解決し、ビジネスを拡大する

主なメリット

ネットワークリソースの最適化

ネットワーク全体の視認性と包括的なトラフィックレポートによって、柔軟でスマートなトラフィック設計が可能になります。トランジットコストを削減し、使用率を高め、ネットワークの拡大に向けたインテリジェントな計画立案を実現します。

ビジネスへの貢献

ビルトインおよびアドホックなトラフィックレポートおよび市場レポートを活用することで、ビジネス環境への知見を提供します。これにより、ビジネスの成長に役立つトレンドが見えてくると同時に、マネージメントへのレポートも可能になります。

ダウンタイムの最小化

ネットワークおよびサービス可用性の脅威をプロアクティブに検出し、迅速な診断を行うと同時に、コンフィギュレーションエラー、フラッシュクラウド、DDoS攻撃などの悪意のある脅威が、ネットワークの可用性に影響を与えることを防ぎます。

新規サービスの立ち上げ

ネットワークの視認性および脅威検出に使用しているArbor Sightlineプラットフォームを、トラフィックインテリジェンス、市場分析、サービス品質(QoS)、MPLS/BGP VPNとして活用することで、新規サービスを容易に立ち上げることができます。

クラウドベースの柔軟なライセンス体系

ライセンスプールと柔軟な拡張をサポートすることで、視認性の範囲を迅速かつ容易に拡張するとともに、総所有コスト(TCO)を削減します。

データのコントロール

Arbor Sightlineを利用することで、自社データのコントロール主体となることが可能です。どのルーターがデータを送信するのか、そのデータはどこに保存されるのか、アクセスしたのは誰かを決定することができます。データの存在場所や国がどこであるかについて、懸念が一切不要になります。

プロセスの自動化

RESTful APIによって、他の運用システムとの完全統合が可能になるため、プロセスを自動化してネットワークからさらに価値を引き出せるようになります。また、APIはSightline with Insightのビッグデータレイクにもアクセスできます。

ネットワーク上のデータの急激な増加およびOTT(Over-The-Top)アプリケーションによるコストと利益損失という2つの要素が、従来型のサービスプロバイダーの収益を圧迫しています。その一方で、大規模なネットワークを構築し活用している企業は、サービスプロバイダーと同じような運用形態に進化しつつあります。ネットワーク事業者すべてがビジネスの課題を解決するためには、自社のネットワークで何が起きているかを適切に視認することが重要です。Arbor Sightlineをニーズに合わせて仮想マシンまたは専用アプライアンスとして導入することで、広範囲にわたるネットワークの視認性を容易に実現します。Arbor Sightlineは、大規模で複雑なネットワークを所有する通信事業者や企業向けに設計され、グローバルなネットワーク全体における費用効果の高い柔軟な拡張性が実証されており、ネットワーク全体からNetFlow、SNMPおよびBGPルートを解析し、生データをビジネスの知見へと進化させます。

ここから得た知見に基づいて行動することで、ネットワークの計画/設計、サービスの可用性、サービスイネーブルメントにおけるビジネス上のさまざまな問題を解決することができます。

ビジネスニーズと共に進化するソリューション

ネットワーク事業者に求められるのは、ビジネスニーズと共に進化するソリューションの需要に応えることです。Arbor Sightlineは、過去10年にわたってネットワーク事業者と共に進化し、ネットワークを通してトラフィックがどのように流れているのかを捉えるためのプラットフォームのデファクトスタンダードであり続けています。Arbor Sightlineは、以下の主要なビジネス目標の達成をサポートします。

単なるデータではなく、ビジネスにおける知見を獲得

今や、ネットワークそのものがビジネスとなっています。ネットワーク事業者は、リソースを最適化し、コスト削減に取り組まなければなりません。Arbor Sightlineは、ネットワーク全体のキャパシティ計画から、オーバーレイBGP/MPLS VPNの管理に至るまで、堅牢な機能を提供します。このような広範囲にわたるネットワークデータは、ルーティングやピアリングの設計を決定するために活用される同時に、トランジットコストの削減およびビジネスインサイトの提供も可能にします。

ネットワークおよびサービスの維持

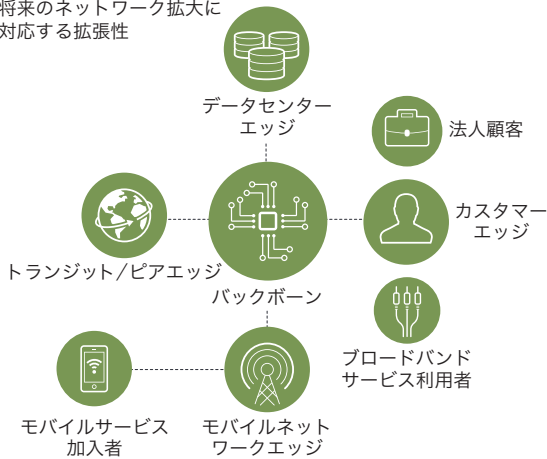
まさに、「時は金なり」です。ネットワーク事業者は、ビジネスに影響が出る前に問題を迅速に検出し、解決しなければなりません。Arbor Sightlineは、ネットワークのホットスポット、BGPハイジャック、DDoS攻撃トラフィック、ネットワークのコンフィギュレーションエラーといった、潜在的なサービス停止要因を検出することができます。そして、根本原因の分析ツールを活用して問題を速やかに診断し、BGP Flowspec、BlackholeなどのDDoS攻撃の減災機能、そしてアクセス制御リスト(ACL)を使用して、問題を解決します。

収益を生み出すサービスの立ち上げ

ビジネスの成長は極めて重要です。ネットワーク事業者にとっては、収益の成長を支え、促進していくことが不可欠です。Arbor Sightlineを導入することで、ネットワーク事業者はDDoS攻撃対策、顧客またはASNに固有のトラフィックの分析、サービス品質(QoS)、MPLS VPNサービスなどの新規サービスを顧客に提供できるようになります。これまでの投資や既存のインフラを活用することで、新たなサービスの速やかな立ち上げや、既存のサービスの強化が可能になります。Arbor Sightlineが提供するビルトインのポータル、マルチテナントの顧客スコーピング、RESTful APIによって、そうした収益を生み出す新規サービスの迅速な立ち上げと効率的な運用が実現します。

ネットワークの実態を捉える

将来のネットワーク拡大に対応する拡張性



問題を解決する

知見をアクションに変える



ビジネスを拡大する

新規サービスから収益を創出



Arbor Sightline: ネットワークの実態を捉え、問題を解決し、ビジネスの拡大を支援します

Arbor Sightlineの拡張性

BGPルート数(ユニーク)	25,000,000
フロー/秒(サンプリングされていないデータ)	48,000,000
監視対象ルーター数	5,000
監視対象インタフェース数	200,000
合計インタフェース数	550,000
サポートするアプライアンス/仮想マシン数	150
Arbor APSアプライアンス数 (Cloud Signaling対応)	200
Arbor TMSアプライアンス (管理対象)	100
データハンドリングルール数 (管理対象オブジェクト)	20,000

Arbor Sightlineの機能

機能	メリット (インスタンスあたり)
トラフィック、ルーティング、分析	<ul style="list-style-type: none"> 1つのArbor Sightline導入環境において、最大32台のコアルーターまたは100台のエッジルーターからフローを収集
ユーザーインタフェース	<ul style="list-style-type: none"> Sightline導入環境の管理およびレポート専用のユーザーインタフェースを装備 最大で100の同時ユーザー、導入環境毎に700の同時ユーザーをサポート 最大で200台のArbor APSアプライアンスがCloud Signaling™を受信可能。Cloud Signaling™は、マルチテナント環境における顧客ポータル、ポータルAPI、そしてさらに多くの同時ユーザーをサポートするマネージドサービスに使用されます。
データストレージ	<ul style="list-style-type: none"> 監視/保護される管理対象オブジェクト (顧客、ネットワーク、リソース)を作成するための専用の管理プラットフォーム それぞれ最大1,000個の管理対象オブジェクト (MO)をサポート

Arbor Sightline FLEX
ライセンスオプション

個別ライセンスの購入

必要に応じて、その都度Arbor Sightline 永続FLEXライセンスをご購入ください。以後、年1回の保守およびサポート費用をお支払いいただきます。高成長の設備投資重視型ネットワーク事業者最適なライセンスです。

サイトライセンス

各導入サイト (現在および今後予定されるニーズ)をカバーするワントタイムのArbor Sightline 永続FLEXライセンスをご購入ください。以後、年1回の保守およびサポート費用をお支払いいただきます。高成長の設備投資重視型大規模ネットワーク事業者最適なライセンスです。

サブスクリプション

保守およびサポート費用を含む、年間ライセンスのサブスクリプションをご購入いただきます。急激に変化する市場動向および予測不可能な成長ニーズへの対応が必要な、運用コスト重視型の企業に最適です。

Arbor Sightlineを導入する仮想マシンの要件

	VMware	Xen	KVM
ハイパーバイザー	VMWare vSphere v5.0/5.1/5.5	Xen Cloud Platform v1.6.10-61809	KVM QEMU v1.4.2
vCPU数	8～32	8～15	8～32
ネットワークインタフェース数	1～10	1～10	1～10
メモリ	16、24、32GB	16、24、32GB	16、24、32GB
ストレージ	100GB以上	100GB以上	100GB以上

注：推奨する要件の詳細は、製品ドキュメントをご参照ください。

Arbor Sightline-7000アプライアンスの仕様

技術仕様	説明
電源要件	冗長構成の負荷分散型、自動検知式850W二重化電源 AC：100～240VAC、50/60Hz、12/6A、DC：-40～-72V、最大28/14A
サイズ	シャーシ：2Uラックサイズ、重量：36.95ポンド(17.7kg)、高さ：3.45インチ(8.76cm)、幅：17.14インチ(43.54cm)、奥行：20インチ(50.8cm)、標準的な19インチおよび23インチラックに搭載可能
内蔵ストレージ	6 x 480GB SSD (RAID 5 構成)
ネットワークインタフェース	2 x 1GigE (銅線 SFP, GigE SX, GigE LX)、または 8 x 1GigE (銅線 SFP, GigE SX, GigE LX) または 2 x 10GigE (SFP+ SR/LR) および 4 x 1GigE (銅線 SFP, GigE SX, GigE LX)
環境	動作温度：5°～44°C、動作湿度：95%、23°～40°Cで結露なきこと
オペレーティングシステム	Arborが独自に開発したLinuxベースの組み込み型ArbOSオペレーティングシステム
準拠規格	あらゆる国際的な規格差異を含む)、SONCAP、EACマーク、CE低電圧指令2014/35/EU、KCCマーク、RoHS 2011/65/EU、Telcordia GR-63、ETSI EN 300 019、NEBS、ETSI EN 300 753、cULusマーク、IC ICES-003 Class A、EMC指令2014/30/EU適合を証明するCEマーキング、EN55022 Class A、EN55024、EN61000-3-2、EN61000-3-3、CISPR 22 Class A、CISPR 22 Immunity、FCC 47 CFR Parts 15 Class A

最大で毎秒240,000フローの収集が可能

NETSCOUT®

米国本社

NETSCOUT Systems, Inc.
Westford, MA 01886-4105
TEL : +1 978-614-4000
www.netscout.com

アーバーネットワークス株式会社

101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105
ワテラスアネックス13階
TEL : 03-3525-8040
EMAIL : japan@arbor.net
WEB : jp.arbornetworks.com

NETSCOUTは、世界32カ国以上の国々で製品、サポート、サービスを提供しています。各国の事業拠点所在地、電話番号などのお問い合わせ先は、NETSCOUTのWebサイトでご参照ください。
www.netscout.com/company/contact-us